

結成50周年にあたって



宮崎県農協青年組織協議会

委員長 江藤 義和

昭和33年9月13日に結成されたJA宮崎県農青協が、歴代委員をはじめ、諸先輩方のご尽力によりまして、結成50周年を迎え、その歴史の瞬間に約2千名の盟友とともに組織の一員として参加できたことは、喜びにたえません。

この50年という間に、幾多の課題や時局の変化に、組織としての力を発揮し、邁進することができましたことは、盟友の結集力と行動力の成果であります。また、JA青年部への、JAをはじめ関係各機関のご指導・ご鞭撻の賜物であると心から感謝申し上げます。

今日のわが国農業をとりまく情勢は、世界規模の経済環境の悪化により大きく激変しており、食料自給率の向上と農村・地域のさらなる振興等に向け、課題が山積しております。この難局を乗り切るためには、情熱と協同の力をもってすべての盟友が情報を共有し、課題解決に向けての活動を展開するとともに、JA県農青協も新たなステージへステップアップを図らなければなりません。併せて、国民や県民に対して食料・農業・農村への理解醸成のため、永続的で明確なメッセージを発信する必要があります。

こうした時代の中で、組織活動を支え、現在の礎を築いていただいた歴代役員・先輩盟友の方々の、組織や農業に対する思いに感謝するとともに、われわれ盟友自身は、その思いを引継ぎ、宮崎の農業の中核となって、地域の活性化を担う使命を自覚し、積極的に学習活動や組織運動を展開していかなければなりません。

ここに、JA宮崎県農青協結成50周年にあたり、県内JA青年部は、「JA青年組織綱領」に掲げてある、社会貢献・政策提言・JA運動の実践・相互研鑽・人材育成に向け、さらなる組織の強化や活動の充実を図り、次世代に継承すべき重要な責務を、新たな決意のもと、盟友一丸となって果たしていく所存であります。

これまでと同様、関係各位のご指導、ご支援をお願い申し上げましてご挨拶といたします。